



報道発表

平成 29 年 9 月 8 日
東 京 税 関

健康や安全を脅かす危険性のある差止点数が過去最多

～東京税関における平成 29 年上半期の知的財産侵害物品の差止状況～

東京税関における平成 29 年上半期（平成 29 年 1 月～6 月）の知的財産侵害物品の差止状況は、次のとおりです。

1. 健康や安全を脅かす危険性のある差止点数が過去最多

- ・ 消費者の健康や安全を脅かす危険性のある侵害物品（医薬品、化粧品、運動・健康器具、自動車及び付属品、電気製品等）の差止点数は約 46,837 点（前年同期比 120.8% 増）で上半期公表を開始した平成 23 年以降、差止点数としては最多となります。

2. 1日平均 24 件、645 点を差止め

- ・ 輸入差止件数は 4,449 件（前年同期比 5.2% 減）で、輸入差止点数は 117,442 点（前年同期比 43.6% 増）でした。
- ・ 1日平均で 24 件、645 点の知的財産侵害物品を差し止めていることとなります。

3. 中国来が依然として高い水準

- ・ 中国来の知的財産侵害物品の差止件数は 4,026 件（前年同期比 6.6% 減、構成比 90.5%）、差止点数は 92,055 点（前年同期比 36.0% 増、構成比 78.4%）となり、平成 19 年以降、件数、点数ともに最大の仕出国となっています。

【お問い合わせ先】

東京税関 税関広報広聴室

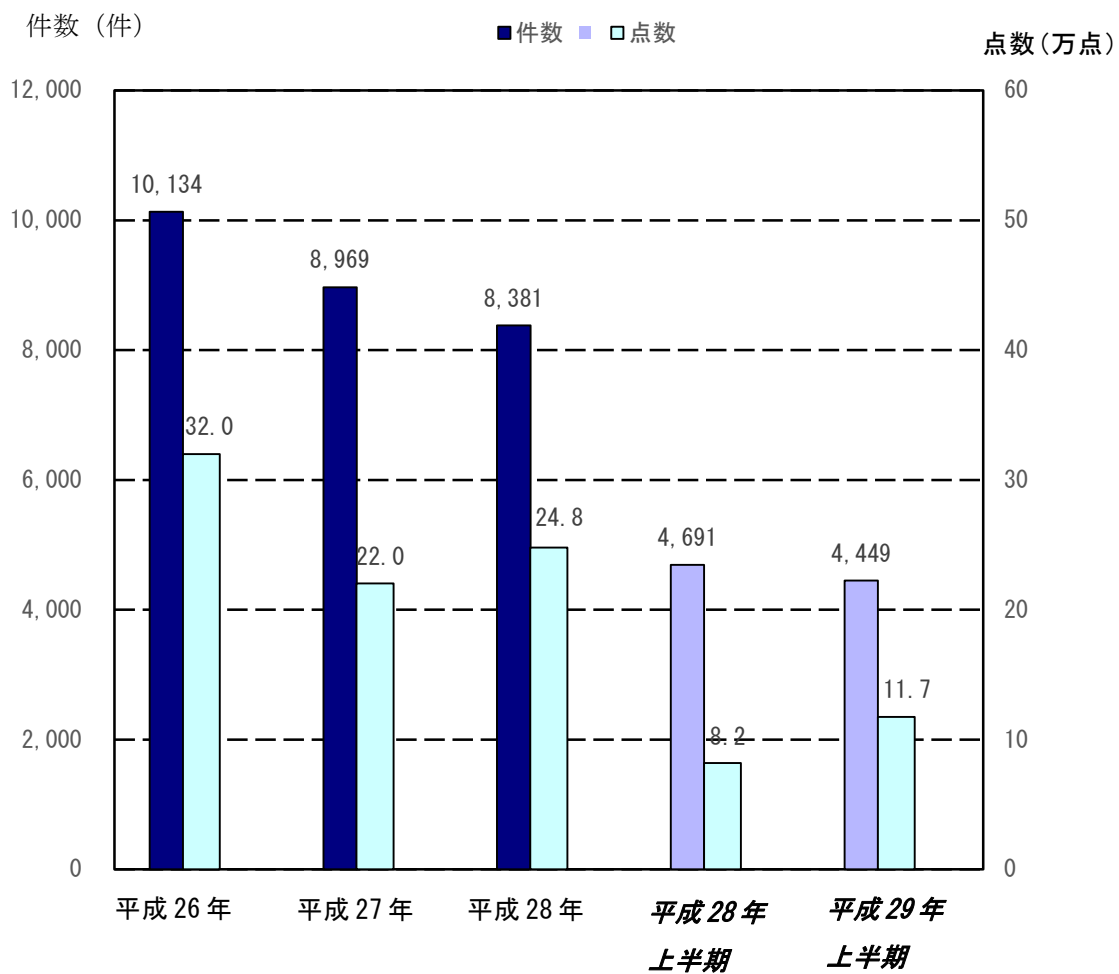
TEL 03-3599-6264 FAX 03-3599-6442

平成29年上半期の知的財産侵害物品の差止状況（詳細）

- 輸入差止件数は4,449件で、前年同期比で5.2%減少しました。
- 輸入差止点数は117,442点で、前年同期比で43.6%増加しました。
- 1日平均でみると24件、645点の知的財産侵害物品を差し止めていることになります。

「差止件数」とは、税関が差し止めた知的財産侵害物品の輸入申告及び郵便物の数です。
 「差止点数」とは、税関が差し止めた知的財産侵害物品の数です。
 例えば、1つの輸入申告において、20点の知的財産侵害物品が含まれていた場合は、1件20点として計上しています。

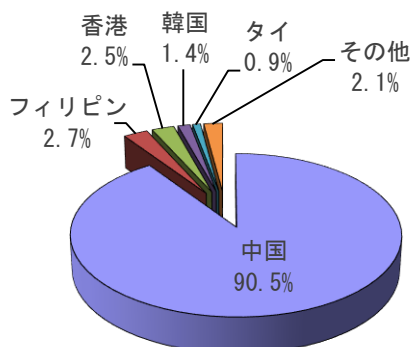
知的財産侵害物品の輸入差止実績（平成26年～平成29年上半期）



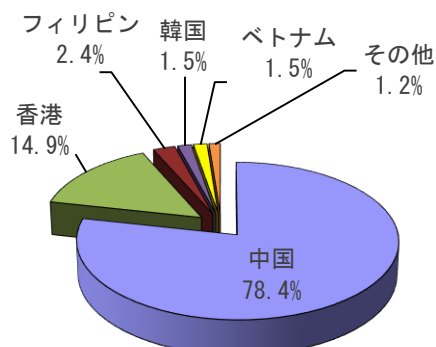
○仕出国（地域）別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、中国来が4,026件（前年同期比6.6%減、構成比90.5%）と全体の9割を占めています。次いでフィリピン来が120件（前年同期比60.0%増、構成比2.7%）、香港来が110件（前年同期比17.9%減、構成比2.5%）となりました。
- 輸入差止点数は、中国来が92,055点（前年同期比36.0%増、構成比78.4%）、次いで香港来が17,537点（前年同期比151.4%増、構成比14.9%）、フィリピンが2,870点（前年同期比287.3%増、構成比2.4%）となりました。

仕出国（地域）別差止実績
構成比（件数ベース）



仕出国（地域）別差止実績
構成比（点数ベース）

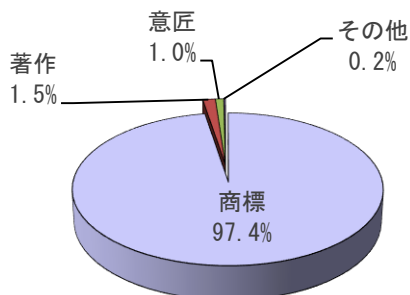


（注） 四捨五入しているため、構成比の合計が100%とならない場合があります。

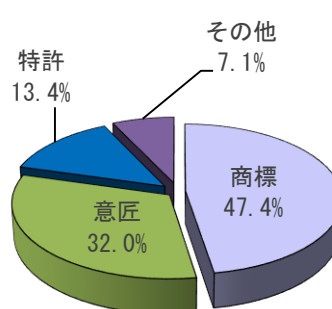
○知的財産別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、例年同様、偽ブランドバッグ等の商標権侵害物品が4,353件（前年同期比17.4%減、構成比97.4%）で大半を占めています。次いでキャラクターグッズ等の著作権侵害物品が65件（前年同期比27.8%減、構成比1.5%）、デザインを模倣した意匠権侵害物品が43件（前年同期比53.6%増、構成比1.0%）となりました。
- 輸入差止点数は、商標権侵害物品が55,715点（前年同期比26.1%減、構成比47.4%）、次いで意匠権侵害物品が37,553点（前年同期比5,581.2%増、構成比32.0%）、発明品である特許権侵害物品が15,788点（前年同期比586.7%増、構成比13.4%）、となりました。

知的財産別差止実績構成比
（件数ベース）



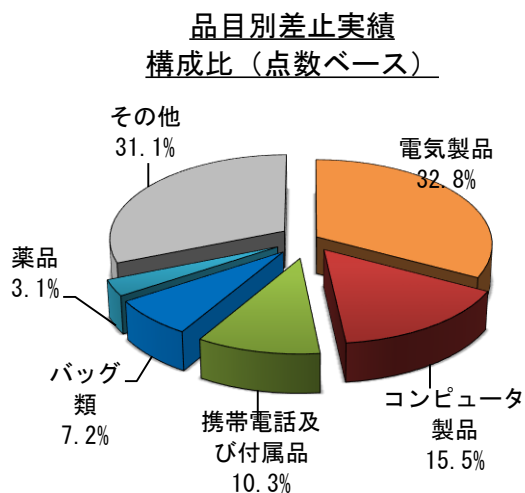
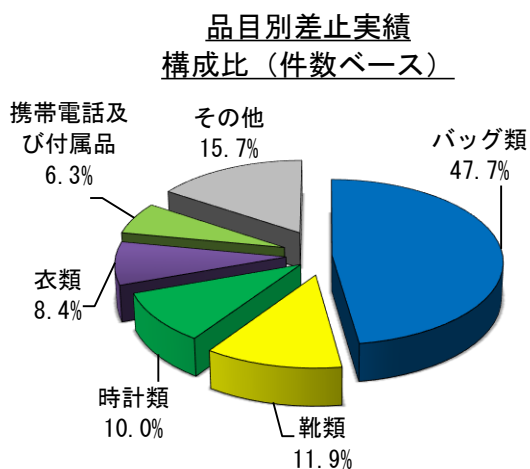
知的財産別差止実績構成比
（点数ベース）



（注） 四捨五入しているため、構成比の合計が100%とならない場合があります。

○品目別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、バッグ類が 2,288 件（前年同期比 8.1%増、構成比 47.7%）、靴類が 570 件（前年同期比 11.5%減、構成比 11.9%）、時計類が 478 件（前年同期比 200.6%増、構成比 10.0%）、衣類が 405 件（前年同期比 31.9%減、構成比 8.4%）、携帯電話及び付属品が 303 件（前年同期比 50.7%減、構成比 6.3%）となりました。
- 輸入差止点数は、電気製品が 38,479 点（前年同期比 558.9%増、構成比 32.8%）、コンピュータ製品が 18,236 点（前年同期比 334.6%増、構成比 15.5%）、携帯電話及び付属品が 12,125 点（前年同期比 19.9%減、構成比 10.3%）、バッグ類が 8,411 点（前年同期比 16.3%増、構成比 7.2%）、医薬品が 3,662 点（前年同期比 58.3%減、構成比 3.1%）となりました。

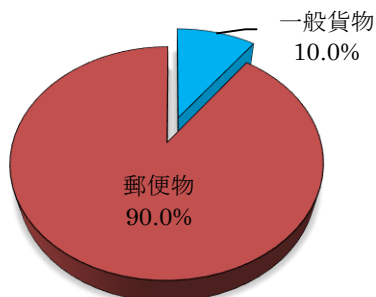


（注） 四捨五入しているため、構成比の合計が 100%とならない場合があります。

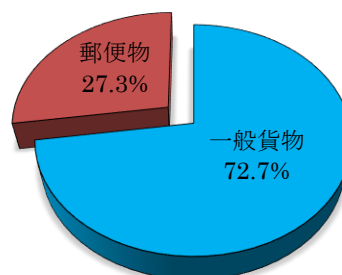
○輸送形態別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、例年同様、郵便物が大半を占めており、郵便物が 4,005 件（構成比 90.0%）、一般貨物が 444 件（構成比 10.0%）となりました。
- 輸入差止点数は、郵便物が 32,077 点（構成比 27.3%）、一般貨物が 85,365 点（構成比 72.7%）となりました。

輸送形態別差止実績構成比
（件数ベース）



輸送形態別差止実績構成比
（点数ベース）



（注） 四捨五入しているため、構成比の合計が 100%とならない場合があります。

消費者の健康や安全を脅かす危険性のある知的財産侵害物品

- 知的財産侵害物品の中には、消費者の健康や安全を脅かす危険性のある物品（使用中に事故等を引き起こす危険性のある医薬品、化粧品、運動・健康器具、自動車及び付属品、電気製品等）があり、平成29年上半期における差止点数は過去最多となっています。

健康や安全を脅かす危険性のある知的財産侵害物品の差止実績の推移
(平成26年～平成29年上半期)

